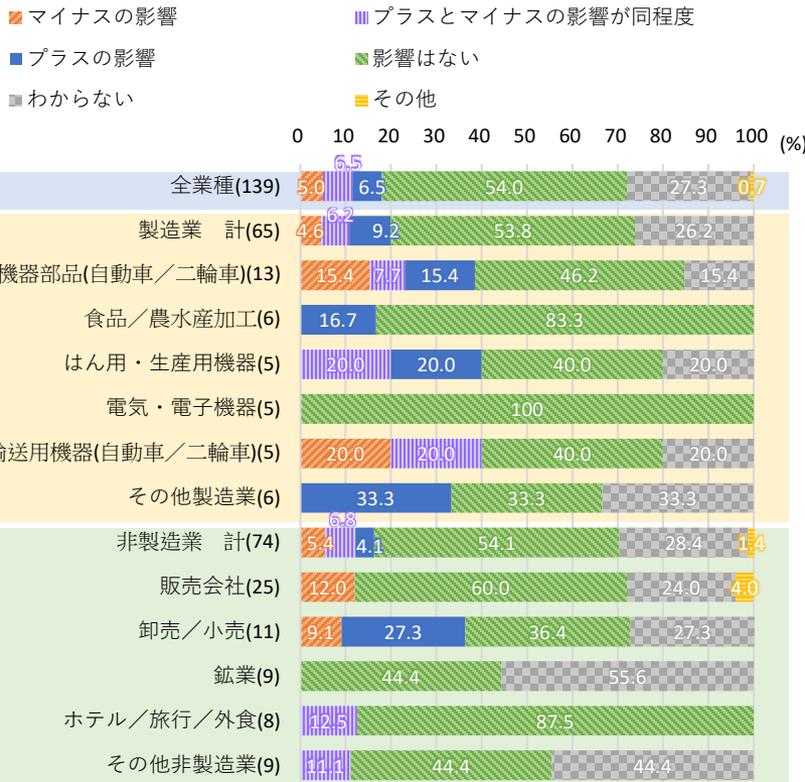


CUSMAの在カナダ日系企業への影響・対応策：「影響はない」が54.0%

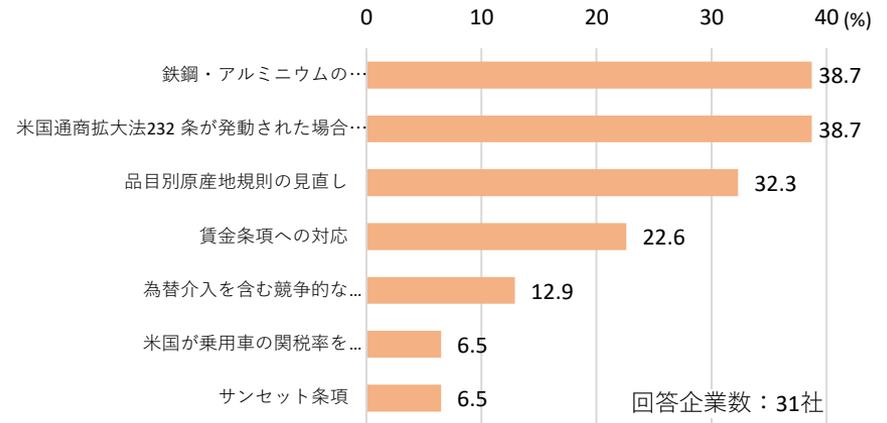
カナダ・米国・メキシコ協定（CUSMA）の在カナダ日系企業への影響について、「影響はない」と回答した割合は前回（48.9%）から5.1ポイント増の54.0%で、「わからない」が5.5ポイント減の27.3%、「プラスとマイナスの影響が同程度」が6.5%で続いた。「マイナスの影響がある」と回答した割合は5.0%（前回4.4%）だったが、業種別でみると自動車／二輪車（輸送用機器20.0%、同部品15.4%）や販売会社（12.0%）で高かった。CUSMAへの対応策は「何も変更しない」が前回から11.3ポイント減少の44.7%（前回56.0%）、「わからない」が42.6%（前回20.6%）で大半を占めた。具体的な対応策としては、「調達先の一部または全部変更」が10.6%で最も高かった。

CUSMA発効による影響



(注) 有効回答5社以上の業種のみ掲載。

企業の経営に影響を与える項目



対応策(上位3項目、複数回答)



(注) 上記3項目以外に、対心束として生産地移管、販売先変更、販売価格の調整と

した回答があった。

CUSMAにより調達先を変更する企業の例

業種	変更前		変更後
卸売／小売	北米	→	欧州
	中国	→	メキシコ
販売会社	米国	→	日本

CUSMAの在カナダ日系企業への影響・対応

【発効を間近に控えた時点での在カナダ日系企業の対応】

- ・現時点では、現地調達率を満たしていることがわかったので、特段のサプライチェーンの変更は行っていない。
- ・現地調達率は今後段階的に引き上げられるので、将来的にも要件を満たせるかどうかについては、今後の生産予定機種や各機種の部品現調計画を検討・推進している状況。
- ・在加の自動車部品メーカーにとっては、現在、日本や中国などから購入されている部品の一部を北米産に変える必要も出てくるので、市場を拡大できるチャンスと考えている。

CUSMAのカナダ農業・酪農業界への影響

農産物についてはNAFTAの下で関税は撤廃されていたため、CUSMAでもその状況は変わらないが、今回の交渉で、乳製品の分野でカナダ市場へのアクセスについて譲歩している。

【乳製品市場のアクセス合意】

- ・カナダ乳製品市場の（生乳換算ベースで全供給量の）3.6%まで、米国から無関税での輸入が可能となる。乳製品輸入ライセンスが乳製品以外の利害関係者にも割り当てられる。TPPでの3.25%から上昇している。

カナダの乳製品の無税輸入割当

(単位：トン)

	CPTPP				CUSMA	
	1年目	6年目	最終年以降		1年目	6年目
					14年目まで1%ずつ増加	
生乳（乳脂肪分6%以下）	8,333	50,000	56,905	19年	8,333	50,000
クリーム（乳脂肪分6%超）	500	580	734	14年	1,750	10,500
脱脂粉乳（乳脂肪分1.5%以下）	1,250	7,500	11,014	19年	1,250	7,500
粉乳（乳脂肪分1.5%超）	1,000	1,051	1,138	14年	115	690
クリームパウダー	100	105	114	14年	750	4,500
バター	750	4,500	5,121	19年		
濃縮乳	333	2,000	2,587	19年	230	1,380
ヨーグルト・バターミルク	1,000	6,000	7,762	19年	689	4,135
バターミルクパウダー	750	828	970	14年	87	520
ホエイパウダー	1,000	6,000	6,244	10年	689	4,135
混合乳製品パウダー（脱脂粉乳50%以上、ホエイパウダー50%以上を含むもの等）	667	4,000	4,552	19年	920	2,760

(出所) 日本協同組合連携機構

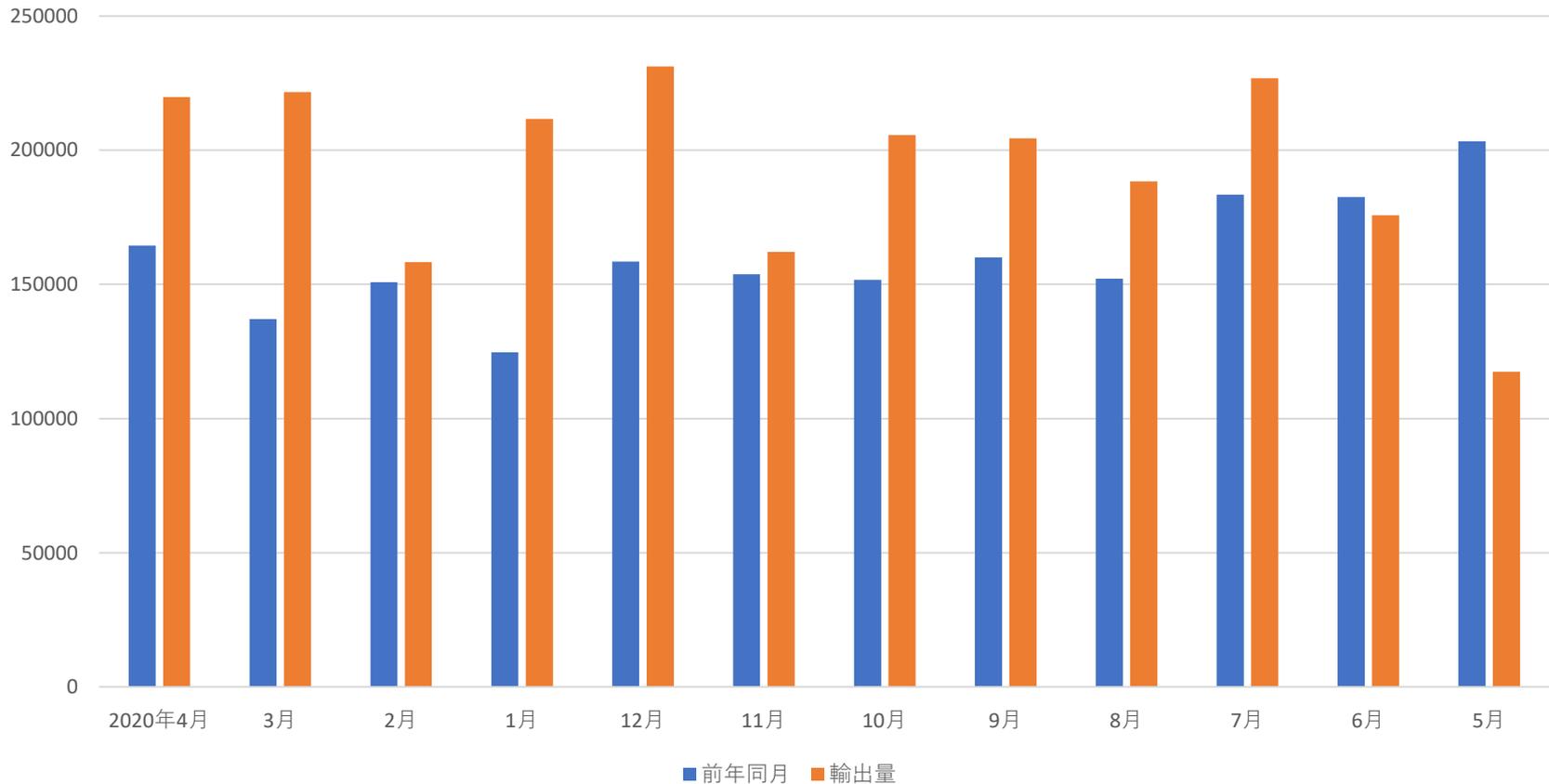
【連邦政府の対応】

・2019年時点でCETA（ECとの自由貿易協定）、CPTPPにより外国産の卵、家禽、乳製品等の輸入増加により影響を受ける農業者への補償のため、連邦政府は36億5,000万ドルを予算を確保し、基金に追加をしている。今回、CUSMAの発効に当たって、連邦政府は影響を受ける生産者、加工業者への補償を約束している。

最近の米加間の通商課題：アルミの対米輸出制限措置を要求

【アルミニウム地金のカナダから米国への輸出】

(単位：MT)



(出所) カナダ統計局貿易統計